

白杵市 施策評価シート  
(令和4年度)

評価担当者	課名	氏名	内線
	環境課	藤澤 清巳	1130

コード	VII-20-47	施策名	CO2削減に向けたまちづくりの推進
施策の方針	環境にやさしい資源が活かされ循環するまちをつくる		
まちづくりの方針	豊かな自然環境で市民が潤い、活力あふれるまち(生活環境)		
5年後のめざす姿	地球温暖化対策への意識を高め、二酸化炭素排出量の抑制を図ります。 市民や地域の団体、事業者などが、日常生活における冷暖房の適正な温度管理、移動時の公共交通機関の利用などの促進をめざします。		
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に関する啓発</li> <li>・エコ製品や低公害車等の環境にやさしい製品購入</li> <li>・再生可能エネルギーの有効活用と自然環境の保全の両立</li> </ul>		

<指標>

新規指標	指標名	説明・算式・引用	実績の推移							
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
環境出前講座の開催回数【累計】		大分県や九州電力等による講師派遣回数並びに環境課職員による出前講座回数	目標	回	8	10	13	15	18	
			実績		5	5	8	10		
			達成率	%	62.5%	80.0%	76.9%			
白杵市役所における温室効果ガス排出量		白杵市地球温暖化対策実行計画(第3期計画)	目標	t(トン)	5799.0	5752.0	5705.0	5658.0	5610.0	
			実績		4293.0	3929.0	4854.0	4237.0		
			達成率	%	147.6%	118.5%	134.6%			
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						
指標の分析		・環境出前講座の開催については、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標を達成できていません。 ・白杵市役所における温室効果ガス排出量については、目標を達成していますが、令和2年度と比較して増加していますので、今後の推移を注視する必要があります。								

<市民意識調査結果>

	領域名	必要度	満足度
市民意識調査結果(R4調査)	検討領域	2.52	2.02
市民意識調査結果分析	令和4年度実施のアンケート結果では、「必要度」「満足度」ともに低く、「検討領域」に位置しており、施策や事業の内容について再考の余地があります。		
	CO2削減の意義・知識や意識を向上させるための啓発方法が不十分であったため、市民の意識も低い結果となりました。		

<次年度以降の課題>

令和5年度以降の課題	市民及び事業所の、「きれいな生活環境を維持する重要性についての意識」が十分ではありません。再生可能エネルギーや地球温暖化対策について学ぶ機会をつくり、市民の意識を醸成する必要があります。きれいな生活環境を維持することについて、市民の関心がより高まり、さらに実践していただけるような仕組みをつくり出す必要があります。
------------	---

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費(単位:千円)			課長評価	公共5カ年	他の関連施策コード
				R3年度実績	R4年度実績	令和5年度年度見込み			
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
合計				-	-	-			

<施策の今後の展開 ~担当課長評価>

進捗状況	課長評価
やや遅延	令和5年度中に脱炭素社会の実現に向けた、白杵市における将来的な再生可能エネルギーの導入目標・脱炭素シナリオ等を策定する予定です。 目標を達するため、施策内容を再検討(見直し)する

<施策の今後の展開 ~内部評価(内部検討会)>

※以降の評価は、令和3年度～令和5年度の3カ年に分けて実施予定。

実施年度	内部評価
令和4年度実施済	-

<白杵市行財政活性化推進委員会による外部評価:最終>

外部評価	評価のコメント
-	

<白杵市行財政活性化推進委員会を受けての市の取組>

--